

# 花の丘病院

パブリケーション  
*PUBLICATION*

2026. 2

冬号

*VOL.18*

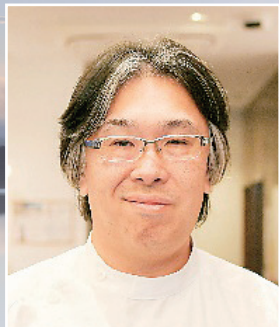
WINTER

1. 2026年 年頭の挨拶／院長 清水 康裕, 理事長 松本 和隆, 会長 松本 隆史
2. もっと身近な「花の丘」へ！ 地域の皆様と過ごした「花の丘フェス」  
／リレーションシップ委員会／リハビリテーション科 理学療法士 森 優太
3. 透析中の“ながらケア”で身体を守る  
— 透析センターの物理療法の取り組み —／透析センター 臨床工学技士 岩田 悠一
4. 「お買い物ついでに健康チェック！  
コープみえまつさか店でフレイル予防イベント」／栄養課 管理栄養士 石留 真寿美
5. “自分でできる”を支えるトイレ動作の自立に向けた取り組み  
／リハビリテーション科 作業療法士 佐古 健一郎



## 2026年 年頭のご挨拶

### 「飛躍の年」



理事長 松本 和隆

2026年の幕開けにあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。平素より当法人の運営に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、医療・介護界を取り巻く環境は依然として厳しさを増しておりますが、私たちは改革の手を緩めることなく、質の高い安心・安全な医療・介護の提供に全力を尽くしてまいります。地域に根ざした医療機関として、皆様が住み慣れた場所で健やかに暮らせるよう貢献し続けることが、私たちの使命であると考えております。本年も全職員が一丸となり、地域の皆様からより一層信頼される法人を目指して誠心誠意邁進する所存です。皆様の健やかな一年を心より祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。



院長 清水 康裕

新春のお慶びを申し上げます。我々は、『地域に根ざした保健・医療・福祉サービスの提供、改善に努めます』を理念に日々従事しております。物価高騰、診療報酬改定など、2026年の医療を取り巻く環境はさらに変化の時を迎えることとなりますが、馬の如き勢いを持って挑戦し、医療の質の飛躍的な向上に努めてまいります。また、今年の当法人のテーマである『地域No.1を維持しながら安全なサービス提供を！』を常歩(なみあし)の如く着実にこなし、目標達成に向けては全力を挙げて疾走し、飛躍の年となるよう1年間走り抜けていく所存です。皆様にとって幸ある年でありますことを心よりお祈り申し上げます。



会長 松本 隆史

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、新しい一年のスタートを迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。さて、御承知のように、私どもを取り巻く、医療環境はこの数年、一段と深刻化して参りました。厚生労働省の「医療経済実態調査」からも、昨年度の国公立や民間を含めた一般病院の約6割が赤字となったと報告されました。一方で、少子高齢社会がさらに進行する中で、医療、介護、福祉に対する期待は、さらに強くなっています。このような逆境の中で地域医療の「崩壊」を防ぎ、地域包括ケアシステムを稼働されることが求められています。私どもは、多くの課題を抱えながら、早急に横断的に同じ場で議論していく必要があります。そのためには、皆様のご協力とパワーが必要とされます。どうか、宜しくお願い致します。ちなみに、本年の干支は「午年」です。活力、行動力、前進の象徴です。今年が皆様にとって充実した年になりますことを祈念申し上げます。

# もっと身近な「花の丘」へ! 地域の皆様と過ごした「花の丘フェス」

リレーションシップ委員会/リハビリテーション科 森 優太



ビンゴ大会の様子



お仕事体験の様子



体力チェックの様子

10月26日(日)、当院にて「花の丘フェス」を開催いたしました。当日はあいにくの雨模様となり、屋外プログラム実施場所の変更を余儀なくされる場面もありましたが、予定通りイベントを決行いたしました。そんな足元の悪い中にもかかわらず、受付開始直後から小さなお子様連れのご家族や地域にお住まいの方々など、非常に多くの方々に足を運んでいただき、会場は終始活気に包まれました。今回のイベントは「地域の皆様にもっと花の丘を知っていただき、健康を身近に感じてほしい」という想いから企画したものです。特に大きな盛り上がりを見せたのは、お子様向けの「お仕事体験」コーナーでした。リハビリ専門職である理学療法士・作業療法士や、看護師のサポートのもとで、初めて触れる医療器具やリハビリ機材を前に目を輝かせていました。緊張しながらも一生懸命に体験に取り組む姿はととても頼もしく、その微笑ましい光景は、見守る保護者の皆様や当院スタッフの心を温かくしてくれました。また、医療機関ならではの試みとして実施した「体のチェック」コーナーでは、血圧測定や握力測定、バランス能力の確認を通じて、ご自身の健康状態を改めて見直すきっかけを提供いたしました。「院長と話そう」コーナーや栄養相談の場でも、日頃の健康維持や食生活について熱心に質問される方の姿が目立ち、地域医療への関心の高さを実感する貴重な機会となりました。イベントの締めくくりとなったビンゴ大会では、松阪牛やお米などの豪華景品を目指し、会場が一体となって大いに盛り上がりました。雨音を吹き飛ばすほどの歓声と笑顔が溢れ、大盛況のうちに全プログラムを終了することができました。初めての試みで至らぬ点もあったかと存じますが、多くの地域の方々と直接触れ合えたことは、私たちスタッフにとって何よりの喜びであり、大きな励みとなりました。雨の中、傘を差してご来場いただいた皆様、そして開催にあたり温かいご協力をいただいた関係者の皆様に、心より深く感謝申し上げます。当院はこれからも、地域の皆様の健康と安心を支え、共に歩いていける病院であり続けられるよう努めてまいります。



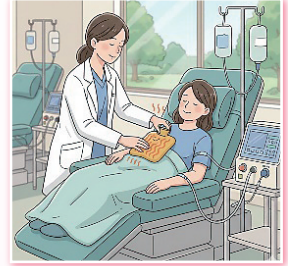
栄養相談の様子

特集

# 透析中の“ながらケア”で身体を守る — 透析センターの物理療法の取り組み —

透析センター 岩田 悠一

透析患者さんは、健常な方と比べてどうしても運動量が少なくなりがちです。1回約4時間、週3回の透析を続けると、単純計算でも1年で約1か月分を多く横になって過ごしていることとなります。当院透析センターでも透析中に行える物理療法として、新たな取り組みを始めました。まず導入したのがEMS(Electrical Muscle Stimulation)です。これは、横になったままでも電気刺激によって主に下肢の筋肉を動かし、トレーニング効果を得ることができる機器です。透析中の時間を有効に活用し、下肢の筋肉量を少しでも維持することで、ADL(日常生活動作)やQOL(生活の質)の維持・向上につながることを期待されます。また、メドマーによる下肢の空気圧マッサージや、ホットパックを用いた温熱療法も行っています。メドマーは血流の促進や足のだるさ・むくみの軽減を目的とし、ホットパックは筋肉の緊張を和らげ、リラックス効果を高める役割があります。これらを組み合わせることで、透析中でも無理なく身体のケアを行うことができます。今後、透析患者さんの高齢化がさらに進んでいく中で、透析中の時間を活かした身体づくり・ケアはますます重要になると考えています。これからもさまざまな工夫を取り入れながら、患者さんのADL・QOLを少しでも維持し、生活がより豊かなものとなるよう支援していきたいと思います。



透析中のホットパックの様子

## 「お買い物ついでに健康チェック! コープみえまつさか店でフレイル予防イベント」

栄養課 石留 真寿美

令和7年11月29日(土)に地域連携の取り組みとして、理学療法士による握力測定・フレイル予防等の健康相談、管理栄養士による筋力アップに役立つ栄養相談をコープみえまつさか様で行いました。子育て世代のご家族さまから80代のご夫婦など約60名の幅広い年齢層の方にお越しいただきました。

握力測定では年齢別の握力平均値を基準に筋力を評価することで、ご自身の筋力レベルを知っていただき、栄養相談では肉の日にちなんだレシピを含め筋力アップにつながるアドバイスをを行いました。

筋力をつけるためにはタンパク質だけでなく、適度な糖質も摂取し、エネルギー不足にならないことも大切です。また、魚や肉の赤身に多く含まれるBCAAというアミノ酸は筋たんぱくの合成を促進し、分解を抑制する働きがあるので、日ごろの食生活では鶏肉ばかりに偏らず、脂身の少ない牛肉や豚肉も摂取することがおすすめです。

今回のイベントで紹介した辻井管理栄養士監修のレシピを紹介します。花の丘病院では今後も地域のみなさまに貢献できるような活動を企画していきたいと考えています。



コープみえまつさか店での健康チェックの様子

### ココロチキンナゲット(2食分)

- 【材料】
- 鶏ミンチ…100g
  - 塩・こしょう…少々
  - コンソメ…1.5g(小1/2)
  - マヨネーズ…7g(大1/2)
  - 片栗粉…4.5g(大1/2)
  - 玉ねぎ…50g(1/4個)
  - 油…適量
  - レタス、ケチャップ等お好みで



#### 【作り方】

- ①玉ねぎはみじん切りにする。
- ②ボウルに鶏ミンチ、玉ねぎ、調味料、片栗粉を入れて混ぜ合わせる。
- ③フライパンに油を入れ、スプーンで②をすくって入れ、揚げ焼きにする。
- ④お好みで皿にレタスを敷き、チキンナゲットを盛り付けて出来上がり。

※小さいのでおやつやお弁当にも  
・人参やきのこ類を混ぜてアレンジも簡単!

1食分当たりの栄養成分

エネルギー	タンパク質	脂質	炭水化物	ナトリウム	糖質	食物繊維	食塩
134kcal	9.2g	9.3g	5.2g	1190mg	0.5g		0.6g

イベントで提供したレシピの紹介

# “自分でできる”を支える トイレ動作の自立に向けた取り組み

リハビリテーション科 佐古 健一郎

当病棟に入院される患者さんの多くは高齢者で、日常生活動作に何らかの課題を抱えておられます。特に排泄動作においては、トイレの利用が困難となり、やむを得ずオムツの使用を選択せざるを得ないケースも少なくありません。そこで当病棟では、入院中の患者さんが安心してトイレでの排泄が行えることを目標に、医師・看護師・介護士・理学療法士・作業療法士からなる排泄支援チームを中心に、多職種で連携したサポートを行っています。

介助方法の統一と安全なトイレ誘導を目的に「トイレ動作チェックシート」を活用し、重度の介助が必要な患者さんに対しても、早期から適切なトイレ誘導ができる体制を整えています。この取り組みの大きな特徴は、単に動作の可否を評価するのではなく、「できるところ」と「できないところ」を具体的にチェックシートへ記載している点です。これにより、各職種が患者さんの現状能力を共通認識として把握でき、能力の変化に応じたトイレ誘導方法をタイムリーに見直すことが可能となっています。例えば、「手すりを把持すれば立位が安定する」「方向転換時には見守りが必要」といった情報を共有することで、過介助にならない適切な声かけや介助方法をチーム全体で統一しています。こうした関わりは、患者さんが本来持っている力を引き出し、自信につながる支援となっています。また、「できる動作」に目を向けた誘導を行うことで、排泄動作にとどまらず、ADL全体の向上にも良い影響を与えています。誘導の場面では、チェックシートをもとに、声かけの方法、見守りの距離、環境調整などを個々の能力に合わせて工夫し、「その人に合った支援」を大切にしています。今後も多職種による情報共有と評価の精度向上に継続して取り組みながら、患者さんが自らの力を最大限に発揮できるトイレ動作の再獲得支援を進め、排泄の自立を支える病棟運用を目指していきます。



トイレ動作の自立に向けたイメージ



医師・看護師・介護士・理学療法士によるメンバー

## ■編集後記

年頭の挨拶、花の丘フェスの取り組み、透析センターの物理療法紹介、コープみえまつさか店でフレイル予防イベント、トイレ動作の自立に向けた取り組み等、読み応えのある内容になりました。

引き続き、地域に根差した保健・医療・福祉サービスの提供や改善に対する活動を取り上げていきます。

広報誌作成担当：森 優太

# 職員募集！

花の丘病院で一緒に働いてくれるスタッフを募集しています。

中途者・未経験者も大歓迎！！

- 言語聴覚士
- 理学療法士
- 作業療法士
- 看護師
- 介護士
- 社会福祉士
- 事務職



アクセスも簡単！

花の丘病院 ホームページ 採用

で検索

<https://www.shoutoku.or.jp/contact/>  
採用ホームページにアクセス可能な QR コードと URL



問い合わせ先：花の丘病院 総務部門 加藤 丈喜  
(電話番号：0598-29-8700)



花の丘病院「透析センター」のご案内

無料送迎 松阪市から周辺地域へ順次拡大中！

ご相談・ご見学はいつでも ☎0598-30-8810 まで

詳しくは  
透析センター  
HP へ



スタッフブログ更新中！



医療法人 松徳会

## 花の丘病院

(発行人) 理事長 松本 和隆

〒515-0052 三重県松阪市山室町707-3

TEL 0598-29-8700 FAX 0598-29-8739

- ◎内科・婦人科・リハビリテーション科・整形外科  
回復期リハビリテーション病棟(入院料 1) 45 床  
医療療養病棟(入院基本料 1) 51 床  
花の丘病院 透析センター 42 床
- ◎通所リハビリテーション
- ◎訪問リハビリテーション